

鳴海周平の

全國ふらり旅



人口360万人。古くから日本の経済の

けん引役としての役割も果たしながら、

横浜中華街や元町地区商店街、

みなとみらい地区など観光産業においても

重要な拠点となっている横浜市。

暑さもやわらぎ、歩きやすくなつた気候の中、
異国情緒溢れる横浜を訪れました。

みなとみらい駅に降り立つて先
ず最初に目に入つたのは、みなとみ
らいのシンボル「ランドマークタワー」。
地上70階建て、高さ296メートル
という大きさは、かなりの迫力です。
「展望室はこちらです。」という看
板にひかれて、早速展望台まで上つ
てみました。

と、いう説明を聞いているうちに、
あつという間に69階の展望フロアに
到着してしまいました。最高分速
750メートルという驚異的なスピ
ードながら、まったく揺れない乗り
心地。ガイドさんの説明によると、
この振動の少なさは「10円玉も倒
れないほど」だそうです。

エレベーターを降りた瞬間、目の
前に地上273メートルの景色が広
がりました。テニスコートが5つも
入つてしまふほど広いというこの展
望フロア。どの角度から見ても横浜
の街が一望出来ます。「日本一空に
近い展望フロア」からの眺めは、本
当に素晴らしいものでした。



日本一の展望フロアからの景色を楽しんで、再びみなとみらい地区を散策し始めた時「オー!!」という歓



下から見上げたランドマークタワー。大きさは圧巻です。

事にキャッチ!!思わず目が釘付けになってしまいました。

リートパフォーマンスを行っているそ



「日本一高い展望フロア」から見た横浜市街。ベイブリッジまではっきりと見渡せます。



川原さんが繰り出す数々のパフォーマンスには、ただ驚かされるばかり。

声が聞こえきました。ランドマークタワーに隣接するグランモール広場という所にたくさん的人が集まっています。興味津々で中を覗いてみると、1人の男性に皆の目が集まっていました。「何だろう?」と思って見ていると、その男性は駒(ヨーヨー?)のようなものを高く放り上げました。「えっ!! ウソでしょ!!」放り上げられたその駒の高さはビルの10階以上にもなつてていたと思います。そして落ちてきたところを見

その後もパフォーマンスは続き、気が付くと30分以上もその場で鑑賞していました。たくさんの歓声の中、あまりの感動的なショードに、しばし呆然としていた自分でしたが、思い切って声をかけてみました。「あのー、ちょっとお話を聴かせてもらっていいですか?」「ええ、どーぞ、どーぞ!!」そう言つてとても気さくに答えてくれたのは、日本を代表するストリートパフォーマーの川原彰さん。

横浜を中心に、1993年からストリートパフォーマンスを行っているそ

「素晴らしいパフォーマンスですね。どちらで勉強されたんですか?」

「1989年から1992年まで『クラウンカレッジ』という、クラウン(ピエロ)の養成学校があつて、僕はこの2期生なんです。最初は喋らないキヤラでやっていたんですが、喋りだしたらクセになっちゃつて。(笑)高校を卒業してからすぐに芝居がやりたくて、実家のある新潟から上京したんです。最初は小さな劇団

す活動の幅を広げている川原さん。素晴らしいパフォーマンスと心温まるトークで、これからもたくさんの人達に感動の輪を広げてほしいと思います。



川原さんの路上パフォーマンスの感動が冷めやらぬまま、以前から一度訪れてみたかった「ブリキのおもちゃ博物館」へ向かいました。館長である北原照久さんは、13年間も続く人気番組「開運！なんでも鑑定団」にも鑑定士として出演している有名人です。今回は「健康タイム」の対談をして頂けるということで、とても楽しみにしてお伺いしました。



に所属していて芝居の勉強になつた

らしいな、という気持ちでパフォーマンスの勉強を始めました。そしたら、それが面白くって。結局この道に入ることにしたんですよ。」

「パフォーマンスをしている時の川原さんは本当に楽しそうですよね。」

「そうですね。大変なこともあるけど、好きなことを仕事に出来ている

つていうのは、本当に幸せなことだと思います。特にストリート（路上）というのは、まったく知らない人た

ちと出会うところから始まりますから、一緒に盛り上げていく楽しみがあるんですね。クラウンカレッジで学んだことに『FOR YOU（あなたのため）』という精神がありますが、パフォーマンスが達成出来た時に感じる観客の皆さんと的一体感は、まさにこの精神そのもの、という感じがします。今度は北海道にも行きますから是非来てくださいね。」

「ようこそいらっしゃいました。北海道と違つて横浜は暑いでしょう。僕の自慢のコレクションを、ゆっくり楽しんでいいってください。」そう言って迎えてくれたのは、何と北原さんご本人!! とても温かくて優しい笑顔に、「瞬でファンになつてしましました。

「ここには常に3,000点の玩具が展示してあるんです。1973年から始めたコレクションを、たくさん的人に観てもらいたくて、1986年にオークションしました。どの玩具も皆思い入れのあるものばかりな

学生時代に訪れたオーストリアで、ホームステイ先の家族が古いものをとても大切にし、それらを誇らしげに語ってくれることに感銘を受けたという北原さん。そのことをきっかけに収集を始めたコレクションは、今では10万点以上に及びます。

「ヨーロッパの人たちは古いものをとても大切にしているんです。そのことをとても誇りに思っています。この鍋は何代前のお婆さんから

2005年には、映画「まだまだあぶない刑事」にも出演し、ますま

使っているもので…、という講釈から料理が始まるとかですね。（笑）そういう話を聞かされてから食べるもんだから、また美味しく感じちゃう。（笑）そんな文化が僕はとても大好きで、大きな影響を受けました。だんだんと古いものに興味が湧いてきて、帰国後すぐに収集を始めたんです。僕のコレクションは、現在6箇所で常設展示していますが、まだ10以上の博物館を作つても飾りきれないほどの玩具などのコレクションがあります。こうした玩具たちに出番を作つてあげるためにも、展示場はこれからも増設し

ていくつもりです。何でも新しいものが良い、と思われている時代ですが、僕のコレクションに触れて頂くことで、古いものの良さを見直してもらえるきっかけになってくれたらいでですね。」

「横浜はミュージアムが多い都市としても知られていて、北原さんが館長を勤める「ブリキのおもちゃ博物館」「機械じかけのおもちゃ館」「世界客船館」をはじめ、「横浜美術館」や「県立歴史博物館」など、30以上の文化施設があります。

「ブリキのおもちゃ博物館」館長である北原さんと、ストリートパフォーマーの川原さん。横浜という街が大好きで、幸福感を抱きながら仕

事を楽しんでいるというおふたりに、とびきりの元気を頂いた、素敵なお旅になりました。

取材協力
ストリートパフォーマー
川 原 彰 さん
「ブリキのおもちゃ博物館」館長
北 原 照 久 さん
横浜市中区山手町239
TEL 045・621・8710

北原照久さんとの対談は6ページからの「こことからだの健康タイム」でお楽しみください。



北原さん直々にコレクションの説明をして頂きました。